



MuxLab ネットワークコントローラー

**MUX-CM500811**

## ビデオウォール設定手順

対応機種

**MUX-EVH500754-TX**

**MUX-EVH500754-RX**

## 目次

1 はじめに .....	4
2 機器の接続例 .....	4
3 IP アドレスの設定 .....	5
4 送信器、受信器の設定 .....	7
4-1 ログイン .....	7
4-2 製品グループの登録 .....	7
4-3 送信器、受信器の検出 .....	9
4-4 入出力マトリックスの設定 .....	13
4-5 ビデオウォールの設定 .....	16
4-5-1 ステップ 1 : ビデオウォールパターンの設定 .....	17
4-5-2 ステップ 2 : ディスプレイ (受信器) の割当 .....	19
4-5-3 ステップ 3 : ソース (送信器) の割当 .....	20
4-5-4 ディスプレイサイズ、ベゼルサイズの設定 .....	21
4-5-5 ビデオウォール設定の保存 .....	22
4-5-6 Video Wall タブのメニュー .....	22
4-6 シリアルコマンドの送信 .....	23
4-6-1 ネットワークコントローラーからの送信 .....	23

4-6-2 コンピューターからの送信 .....	24
<b>4-7 IR 信号の送信 .....</b>	<b>24</b>
4-7-1 ネットワークコントローラーからの送信 .....	24
4-7-2 受信器から送信器への送信 .....	25
4-8 フームウェアのアップデート .....	25
4-9 メニュータブ .....	26
4-9-1 Products .....	26
4-9-2 Settings .....	26
4-9-3 Software Update .....	29
4-9-4 Help .....	29

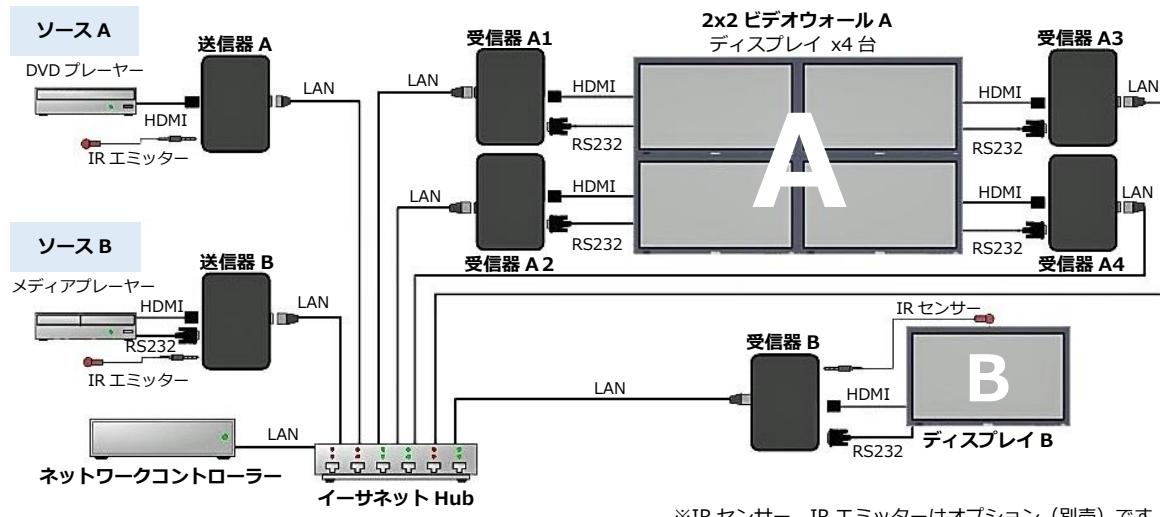
## 1 はじめに

MuxLab ネットワークコントローラー（型番：MUX-CM500811）は、MuxLab ビデオウォール OVER IP シリーズ専用のコントローラーです。ネットワーク接続したコンピューターの Web ブラウザーを使用して、ビデオウォールの構築、各種設定が可能になります。例えば 1 台の送信器と 4 台の受信器を利用して、送信器に入力した HDMI 映像ソースを 4 画面に跨いで表示することができます。

本書では、ビデオウォール IP 送信器（型番：MUX-EVH500754-TX）、受信器（型番：MUX-EVH500754-RX）を使用する場合の設定について解説します。

※以下、本書では MuxLab ネットワークコントローラー（MUX-CM500811）は、ネットワークコントローラーと表記し、ビデオウォール IP 送信器/受信器（MUX-EVH500754-TX/RX）は送信器、受信器と表記するものとします。

## 2 機器の接続例



ネットワークコントローラーと複数の送信器、受信器を組み合わせることで、ビデオウォールを構築することができます。上の図は 2 台の送信器と 5 台の受信器を利用した接続例です。ソース A から入力した映像を送信器 A が伝送し、4 台の受信器（A1～A4）を利用して 2x2 ビデオウォール A に 4 画面に跨いで表示します。同時にソース B から入力した映像を送信器 B が伝送し、受信器 B が受信してディスプレイ B に表示します。

### 3 IP アドレスの設定

ネットワークコントローラーには工場出荷時に固定 IP アドレス(192.168.168.50)が設定されています。ネットワーク環境に合わせて任意の IP アドレスを設定、または DHCP を有効 (IP アドレスを自動取得) に設定します。

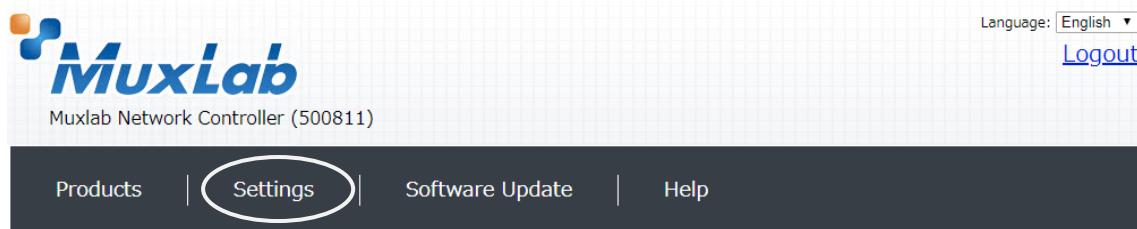
1. ネットワークコントローラーとコンピューターを LAN ケーブルで接続します。
2. コンピューターにネットワークコントローラーと同一セグメントの IP アドレス(192.168.168.xxx) を設定します。
3. コンピューターのブラウザーを開き、アドレス欄に下記を入力して Enter キーを押します。  
http://192.168.168.50/mnc
4. ログイン画面で **Username**、**Password** を入力し **【Sign In】** をクリックしてログインします。  
(工場出荷時) Username : admin Password : admin

The image shows the login interface for the MuxLab network controller. The title 'LOGIN' is at the top. Below it, a welcome message reads 'Welcome to the MuxLab network controller.' and 'Please login to configure your product.' The login form has two text input fields: 'Username : admin' and 'Password : .....'. Below the password field is a link 'Forgot Password?'. To the right of the password field is a blue 'Sign In' button. The entire interface is contained within a light gray box.

※Forgot Password ? は パスワードを忘ってしまった場合のみ、クリックして操作を進めます。実行するとパスワードがリセットされ、ログインできなくなります。(工場出荷時のパスワードでもログインできません。) リセット後のパスワードはサポートに確認する必要があります。

パスワードを忘れた場合は **Forgot Password ?** をクリックします。確認画面で **【OK】** をクリックするとパスワードがリセットされ、確認コード（文字列）が表示されるので、確認コードを弊社のサポートまでお知らせください。確認コードはコピー&ペーストを使用して正確にお伝えください。

5. ログイン後、メニュータブの **Settings** を開きます。



6. DHCP を有効 (IP アドレスを自動取得) にする場合は、**Use DHCP** の「Yes」にチェックを入れます。任意の IP アドレスを設定する場合は **Use DHCP** の「No」にチェックを入れ、**IP address** (ネットワークコントローラに設定する IP アドレス)、**Network mask** (サブネットマスク)、**Router** (ルーターの IP アドレス) を入力します。[Save] をクリックすると設定の変更が反映され、ネットワークコントローラが再起動します。(ネットワークコントローラにディスプレイを接続しておくと、起動状況を確認することができます。ネットワークコントローラが起動すると、ディスプレイに IP アドレスが表示されます。)

**Network**  
Use the form below if you'd like to set manual network settings.

Use DHCP:  Yes  No

IP address: 192 . 168 . 168 . 50

Network mask: 255 . 255 . 255 . 0

Router: 192 . 168 . 168 . 1

**Save**

7. DHCP (ルーター)、または新しく設定した IP アドレスに合わせて、コンピューターの IP アドレスを変更、または IP アドレス自動取得に設定します。(コンピューターにネットワークコントローラと同一セグメントの IP アドレスを設定します。)

## 4 送信器、受信器の設定

### 4-1 ログイン

送信器、受信器の設定はネットワークコントローラーを介して行います。ネットワークコントローラーにログインします。

1. コンピューターのブラウザーを開き、アドレス入力欄に以下を入力して Enter キーを押します。

http://ネットワークコントローラーの IP アドレス/mnc (例) http://192.168.11.2/mnc

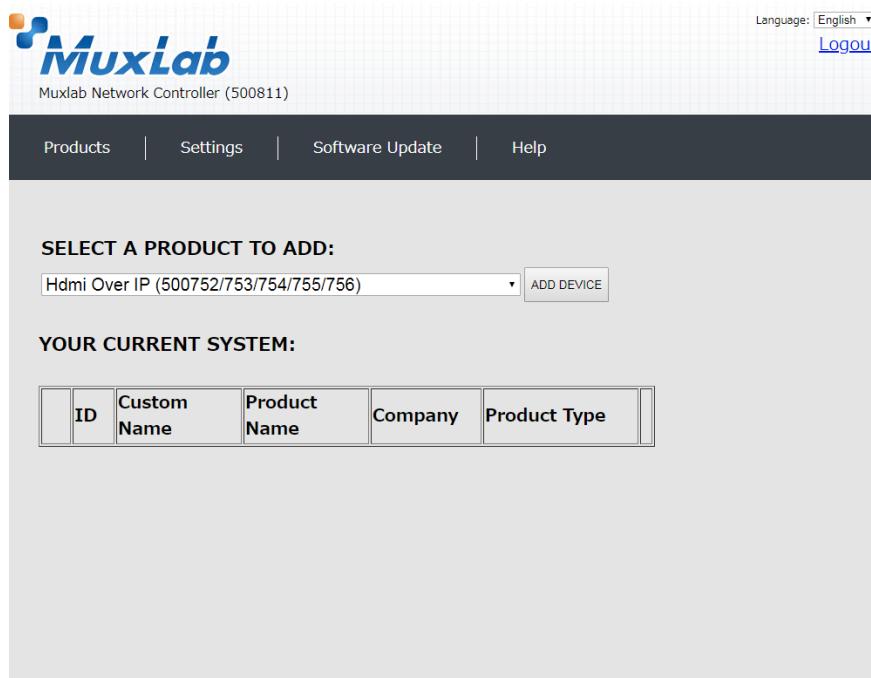
2. ログイン画面で **Username**、**Password** を入力し、**[Sign In]** をクリックしてログインします。

(工場出荷時) Username : admin Password : admin

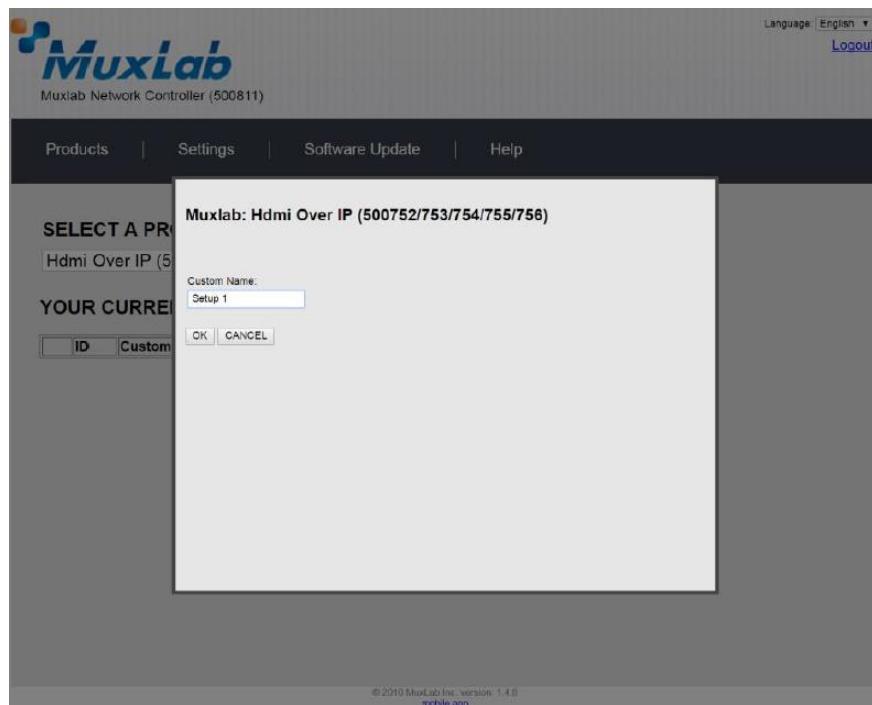
### 4-2 製品グループの登録

使用する送信器、受信器のモデル名を選択してグループを作成します。ログイン直後の画面で設定を行います。他の画面を開いている場合はメニュー タブの | **Products** | をクリックして画面を切り替えます。

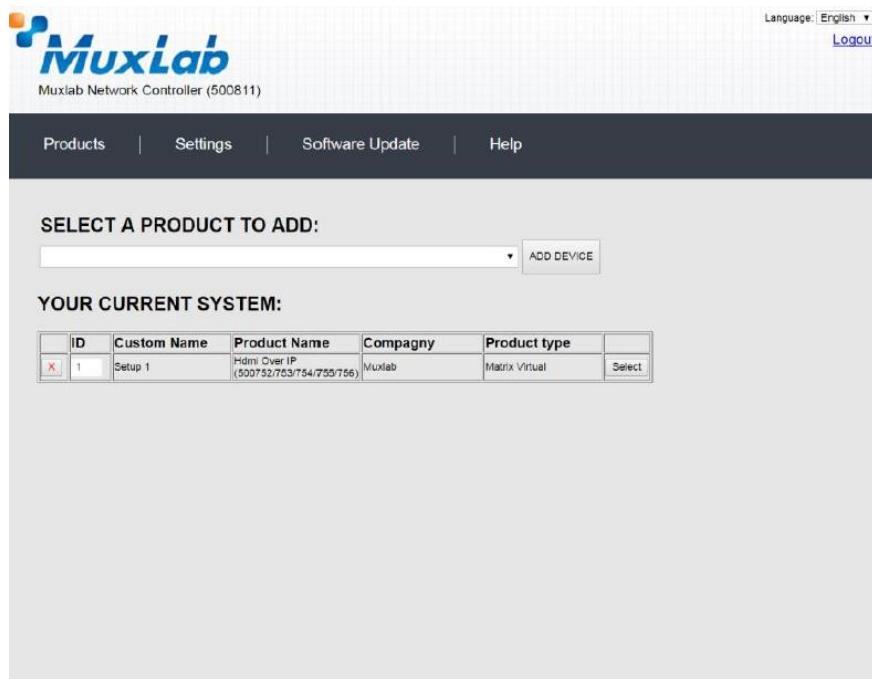
1. **SELECT A PRODUCT TO ADD** のドロップダウンボックスから送信器、受信器のモデル名を選択します。  
「Hdmi Over IP (500752/753/754/755/756)」を選び、**[ADD DEVICE]** をクリックします。



2. 送信器、受信器のグループに名前を付けます。Custom Name のフィールドにグループ名を入力し、「OK」をクリックするとグループが保存されます。[CANCEL] をクリックすると、グループの作成をキャンセルし、前の画面に戻ります。



3. 送信器、受信器のグループがネットワークコントローラーに追加されると下のような表示になります。



<ID>

**ID** にはグループを作成するごとに通し番号が振られます。**ID** の数値は変更することができます。**ID** の数値を書き換えた後、他の操作をすると、確認ダイアログが表示されるので **[OK]** をクリックして設定を保存します。**[Cancel]** をクリックすると、元の数値に戻ります。

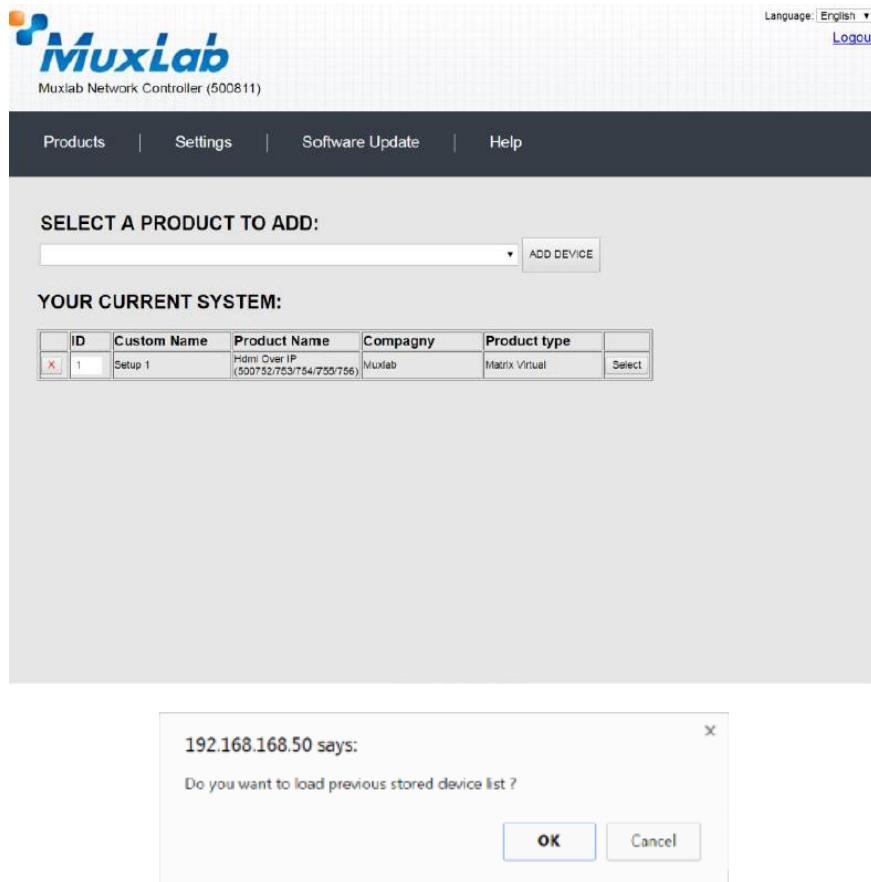
<グループの削除>

**X** をクリックした後、確認ダイアログで **[OK]** をクリックするとグループを削除します。**[Cancel]** をクリックするとグループの削除をキャンセルします。

### 4-3 送信器、受信器の検出

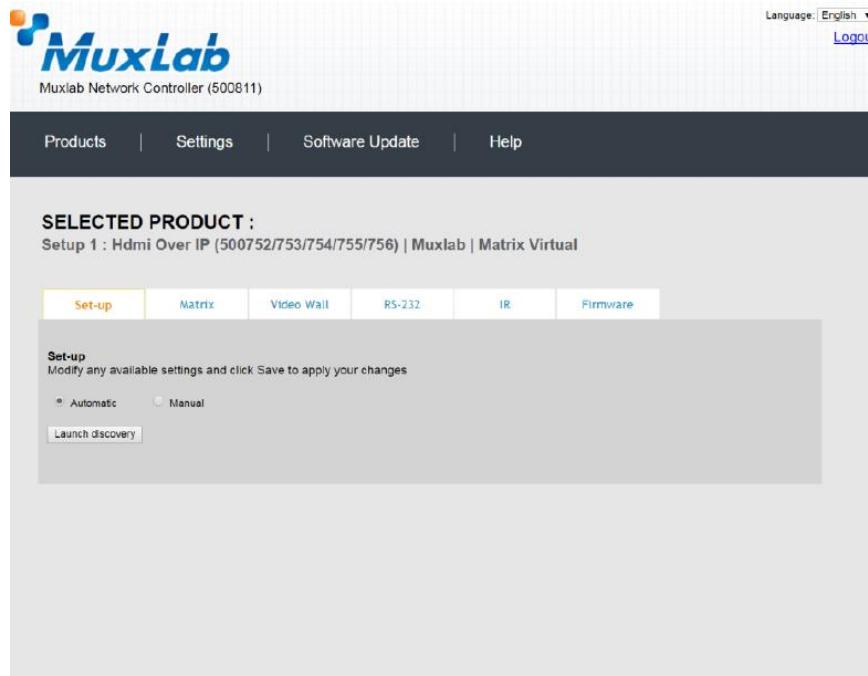
ネットワークに接続している送信器、受信器を検出してグループに登録します。

1. **[Select]** をクリックします。過去にグループに登録した送信器、受信器の一覧（デバイスリスト）を呼び出すか確認するダイアログが表示されます。**[OK]** をクリックするとデバイスリストを呼び出し、**[Cancel]** をクリックするとデバイスリストを呼び出さずに進めます。（デバイスリストを保存していない場合もダイアログは表示されます。**[OK]**、**[Cancel]** のいずれかをクリックします。）



2. **Set-up** タブを開き、ネットワーク内の送信器、受信器を検出します。「Automatic」または「Manual」にチェックを入れてを選択し、[Launch discovery] をクリックして検索します。

「Automatic」は送信器、受信器のディップスイッチの設定を問わず、ネットワーク内の全ての送信器、受信器を対象に検索します。検出された送信器、受信器はネットワークコントローラーの制御下に置かれます。「Manual」はディップスイッチの設定を優先します。(Automatic 設定を推奨)



検出された送信器、受信器が一覧で表示されます。

Display (4 RX)						
Port#	Name	MAC address	IP address	MASK	DHCP DIP	
0	RX-00-0B-78-00-7D-E2	00-0B-78-00-7D-E2	192.168.168.64	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Reboot	<a href="#">Detail</a>
0	RX-00-0B-78-00-7E-59	00-0B-78-00-7E-59	192.168.168.60	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Reboot	<a href="#">Detail</a>
0	RX-00-0B-78-00-7E-5E	00-0B-78-00-7E-5E	192.168.168.65	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Reboot	<a href="#">Detail</a>
0	RX-00-0B-78-00-7E-03	00-0B-78-00-7E-03	192.168.168.63	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Reboot	<a href="#">Detail</a>

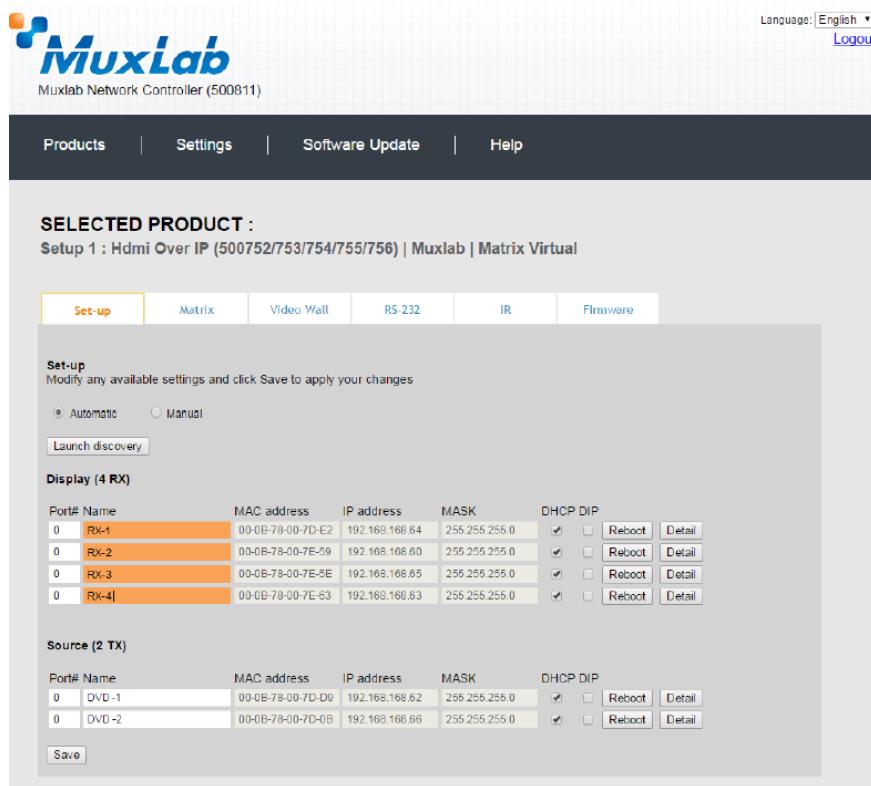
Source (2 TX)						
Port#	Name	MAC address	IP address	MASK	DHCP DIP	
0	DVD-1	00-0B-78-00-7D-D9	192.168.168.62	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Reboot	<a href="#">Detail</a>
0	DVD-2	00-0B-78-00-7D-0B	192.168.168.66	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> Reboot	<a href="#">Detail</a>

[Save](#)

### <Name (名前) >

送信器、受信器に名前を付けることができます。名前には 20 文字以内の半角の英数字のみ使用することができます。送信器に接続されたソース機器、受信器に接続された表示機器に合わせて、Media Player、DVD、Display、Projector などの名前を付けることができます。

名前を変更する場合は **Name** フィールドをクリックして書き換えます。名前を書き換えると背景がオレンジ色になります。[Save] をクリックして変更を保存します。



変更が保存されると **UPDATED** と表示されます。

Port#	Name	MAC address	IP address	MASK	DHCP DIP	Reboot	Detail	UPDATED
0	RX-1	00-0B-78-00-7D-E2	192.168.168.64	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<a href="#">Reboot</a>	<a href="#">Detail</a>	<b>UPDATED</b>
0	RX-2	00-0B-78-00-7E-59	192.168.168.60	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<a href="#">Reboot</a>	<a href="#">Detail</a>	<b>UPDATED</b>
0	RX-3	00-0B-78-00-7E-5E	192.168.168.65	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<a href="#">Reboot</a>	<a href="#">Detail</a>	<b>UPDATED</b>
0	RX-4	00-0B-78-00-7E-63	192.168.168.63	255.255.255.0	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<a href="#">Reboot</a>	<a href="#">Detail</a>	<b>UPDATED</b>

<送信器、受信器の詳細な情報>

[Detail] をクリックすると送信器、受信器の詳細な情報を確認することができます。

(送信器)

**Device Detail**

Custom Name:	TX1
Model:	500754-TX
MAC Address:	00-0B-78-00-8A-21
IP Address:	192.168.11.5 (DHCP: ON)
FW Version:	2.1.0
Group IP:	239.255.1.18
Video Resolution:	1920x1080 60Hz
Audio Format:	44.1 khz

Video frame per second:  30 fps  60 fps  
 Video Compression rate: Auto-Adjust:   
 Current Value:  + (0)  
 Default value per resolution:  
 576i:  + (0)  
 720P:  + (0)  
 1080P:  + (0)

**Save** **Cancel**

(受信器)

**Device Detail**

Custom Name:	RX1
Model:	500754-RX
MAC Address:	00-0B-78-00-95-33
IP Address:	192.168.11.4 (DHCP: ON)
FW Version:	2.1.0
Group IP:	239.255.1.18
Video Resolution:	1080P 60Hz
Audio Format:	44.1 khz

Select a screen image:  ファイルを選択 選択されていません  
**Upload Image**

Set output Video Format:   
 Auto-detect Resolution:   
 Show Screen Text:   
 Show Screen image:   
 DVI Compatibility On:   
**Save** **Cancel**

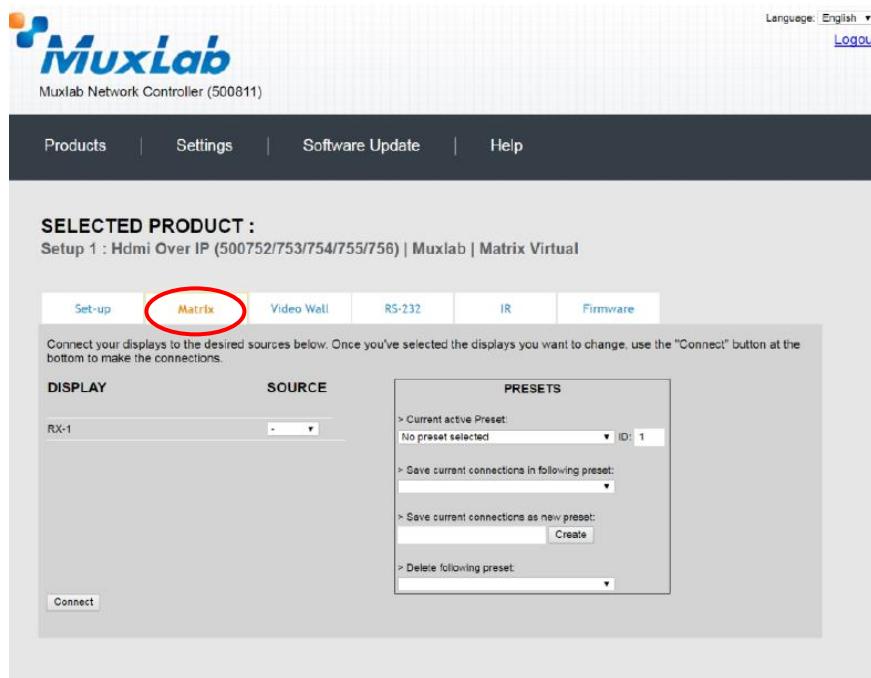
Custom Name	ユーザーが設定した送信器（受信器）の名前
Model	モデル名（送信器：500754-TX、受信器：500754-RX）
MAC Address	MAC アドレス
IP Address	送信器（受信器）の IP アドレス
FW Version	ファームウェアのバージョン
Group IP	グループに与えられた IP
Video Resolution	送信器：入力ソースの解像度、受信器：出力解像度
Audio Format	オーディオのサンプリングレート

※送信器、受信器ともに以下の項目は本機では使用しません。

#### 4-4 入出力マトリックスの設定

送信器に入力した映像をどの受信器で表示するのか、送信器と受信器の組み合わせを設定します。ビデオウォールの設定を行う場合は、**4-5 ビデオウォールの設定** に進みます。

1. 送信器と受信器の組み合わせの設定は **Matrix** タブで行います。設定はプリセット（最大 20 通り）として保存し、呼び出すことが出来ます。プリセットは編集、削除が可能です。**Matrix** タブをクリックして開きます。



2. 送信器、受信器の組み合わせを設定します。**DISPLAY**（受信器）の名前の右にあるドロップボックスより **SOURCE**（送信器）を選択します。左下の **[Connect]** をクリックすると設定を反映させます。**[Cancel]** をクリックすると、設定の変更をキャンセルします。

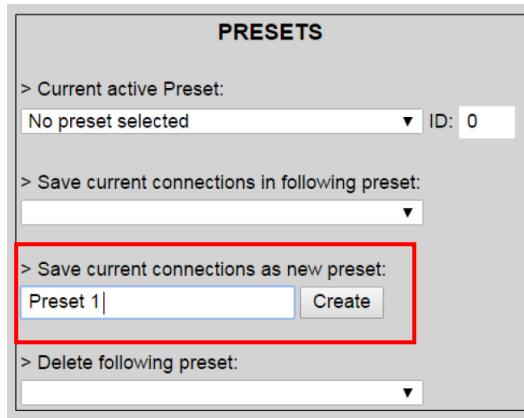


**[Connect]** をクリックして設定を反映させます。設定が正しく保存されると、ドロップボックスの右側に **SUCCESS** と表示されます。

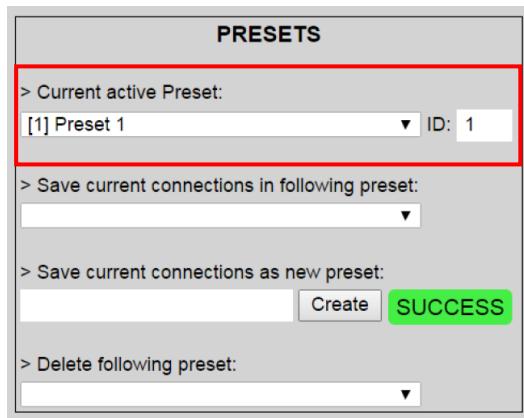


#### <プリセットの保存>

プリセットを保存する場合は、> **Save current connection as new preset** (現在の接続を新しいプリセットとして保存) のフィールドにプリセット名を入力し、[Create] をクリックします。

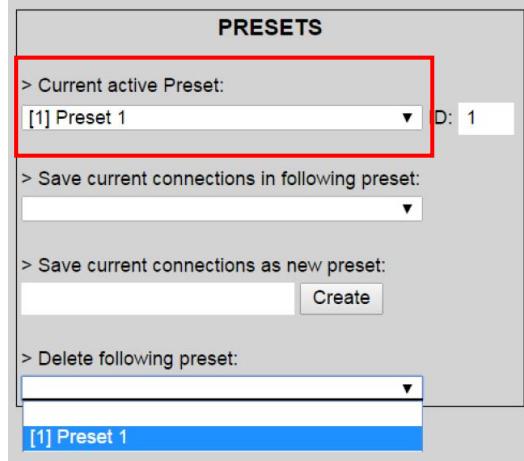


プリセットの保存に成功すると **SUCCESS** と表示され、**Current active Preset** (有効なプリセット) に保存したプリセット名が表示されます。

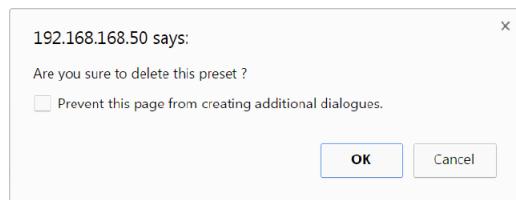


#### <プリセットの削除>

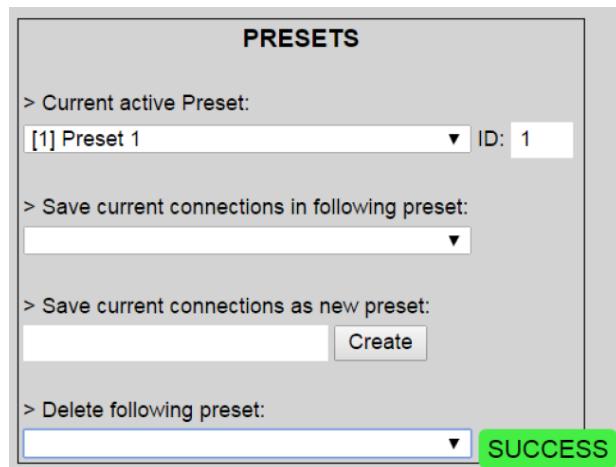
プリセットを削除するには、> **Delete following preset** (次のプリセットを削除) から削除するプリセット名を選択します。



確認ダイアログで **[OK]** をクリックすると削除を実行します。**[Cancel]** をクリックするとプリセットの削除をキャンセルします。



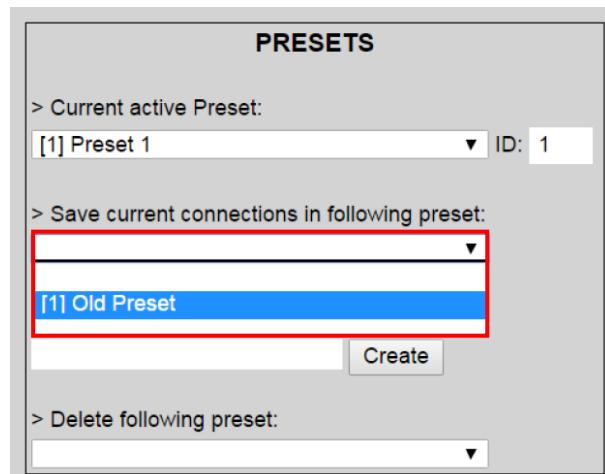
プリセットの削除を完了すると、**SUCCESS** と表示されます。



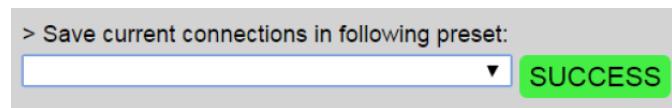
#### <プリセットの上書き>

現在の送信器、受信器の組み合わせの設定を保存済みのプリセットに上書きすることができます。

> **Save current connection in following preset** (現在の接続状況を次のプリセットに保存) より上書きするプリセット名を選択します。

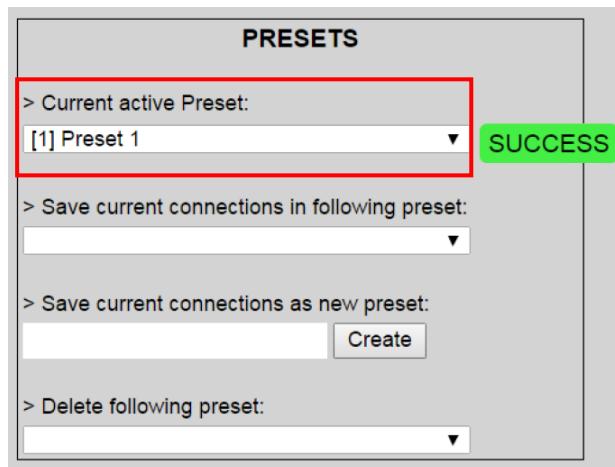


現在の設定がプリセットに上書きされ、**SUCCESS** と表示されます。(プリセット名を選択すると、即時上書きを実行します。)



#### <プリセットの呼び出し>

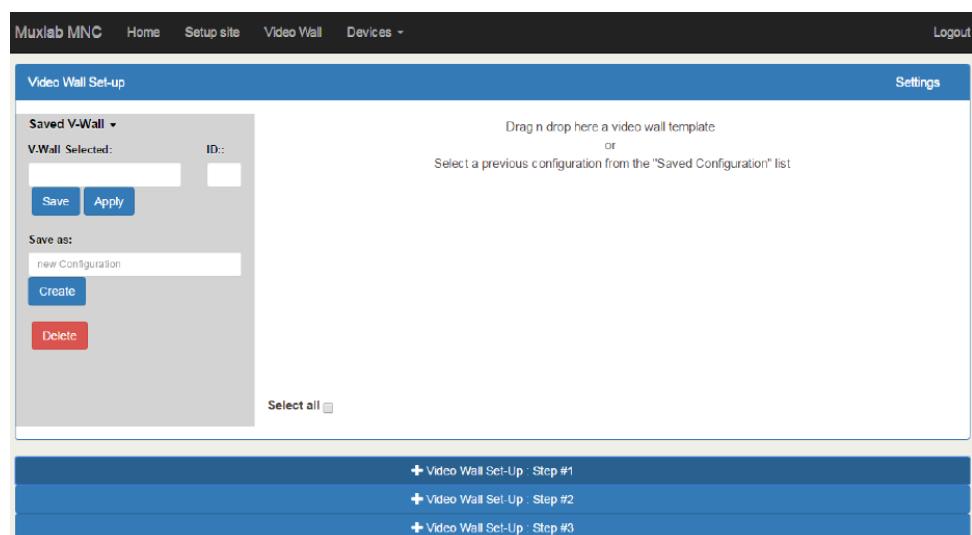
保存済みのプリセットを呼び出すには、> **Current active Preset** (現在、有効なプリセット) よりプリセット名を選択し、確認ダイアログで **[OK]** をクリックします。**[Cancel]** をクリックするとプリセットの呼び出しをキャンセルします。プリセットの呼び出しに成功すると **SUCCESS** と表示されます。



## 4-5 ビデオウォールの設定

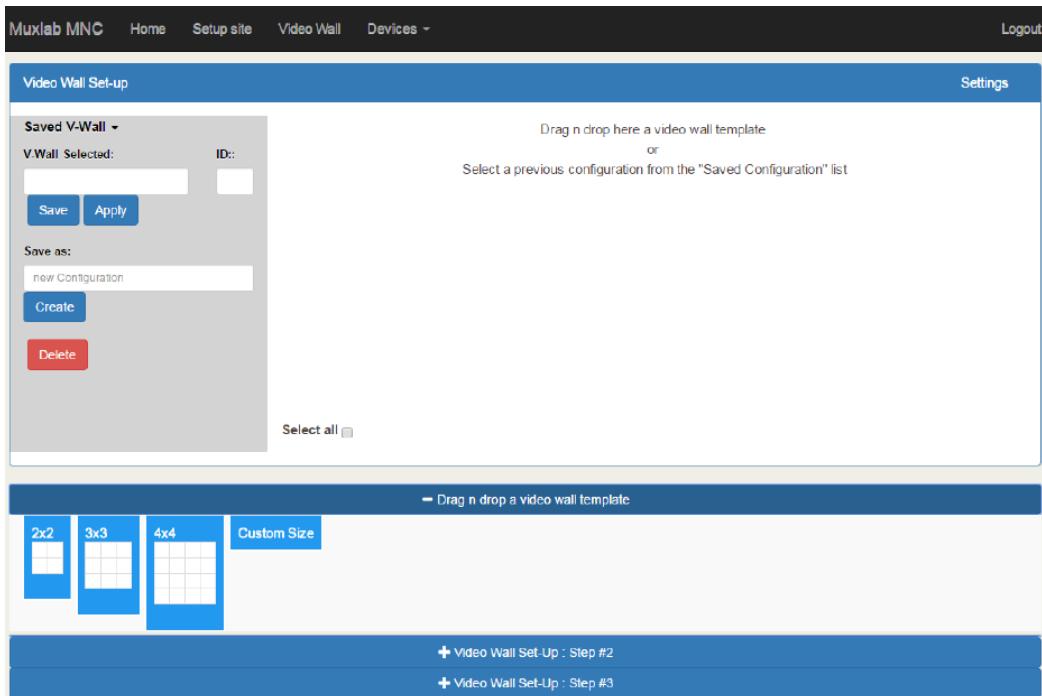
ビデオウォールの設定を行う場合は Video Wall タブをクリックし、3 つのステップで設定を行います。

(Video Wall タブの最上部にあるメニューについては **4-5-6 Video Wall タブのメニュー** 参照)

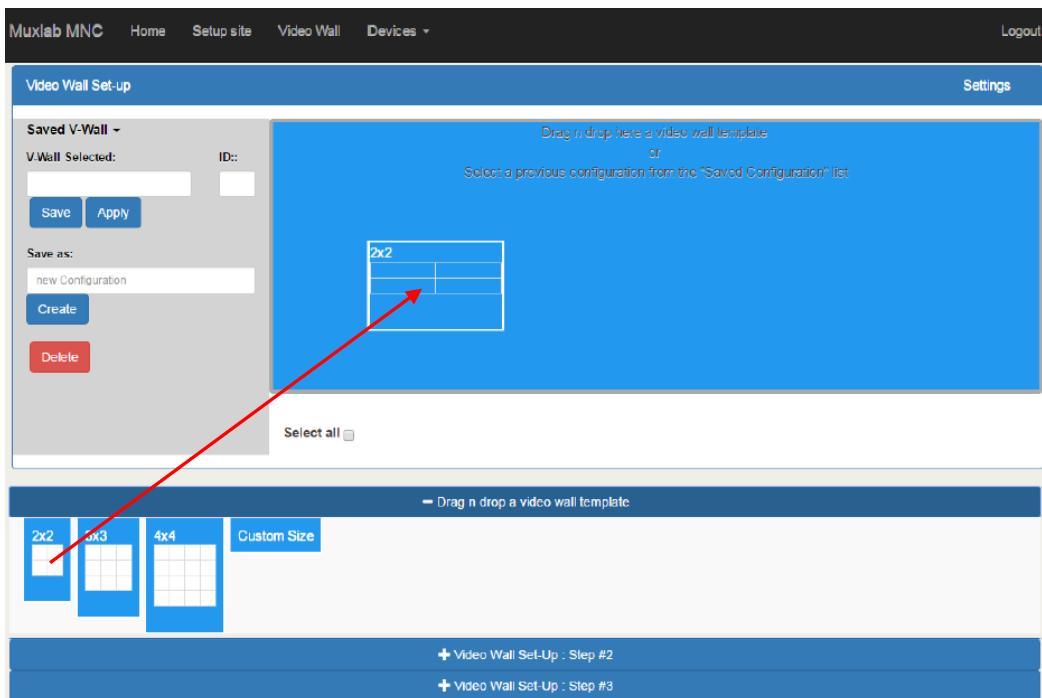


#### 4-5-1 ステップ 1：ビデオウォールパターンの設定

Video Wall Set-Up : Step#1 をクリックするとビデオウォールのパターンが表示されます。

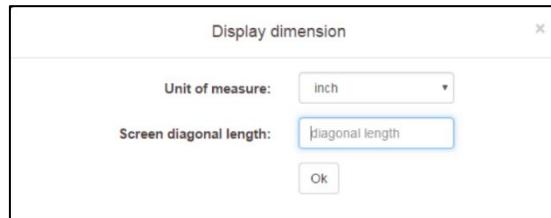


ビデオウォールのパターン（**2x2**、**3x3**、**4x4**、**Custom Size**）を表示ペインにドラッグ&ドロップして登録します。縦横のディスプレイの台数を任意に設定する場合は **Custom Size** を使用します。

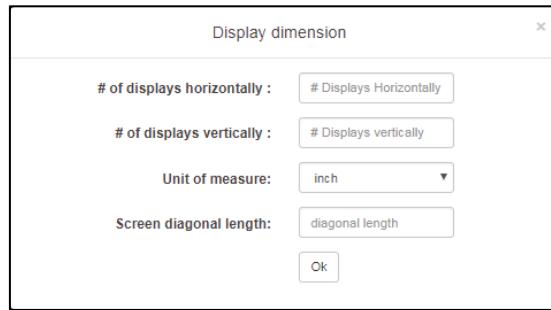


## ビデオウォール設定手順 : MUX-EVH500754-TX/RX

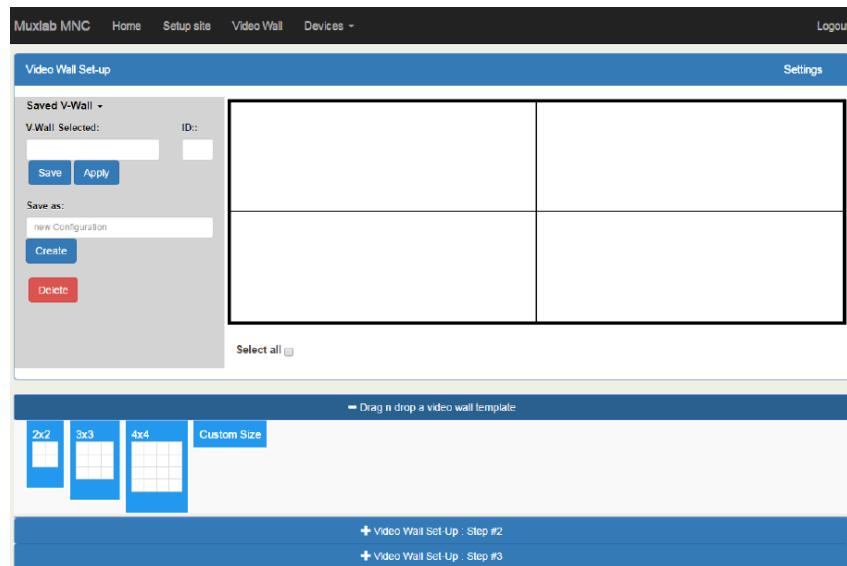
ディスプレイサイズを入力するダイアログが表示されます。 **Unit of measure** ではサイズの単位を選択します。インチを使用する場合は **inch** のまま、 **Screen diagonal length** のボックスにディスプレイのサイズを入力し、 **[OK]** をクリックします。



**Custom Size** を使用する場合は、ディスプレイの数、サイズを入力するダイアログが表示されます。 **#Displays Horizontally** にディスプレイの横方向の台数を、 **#Displays vertically** に縦方向の台数を入力し、 **Screen diagonal length** にサイズを入力して、 **[OK]** をクリックします。

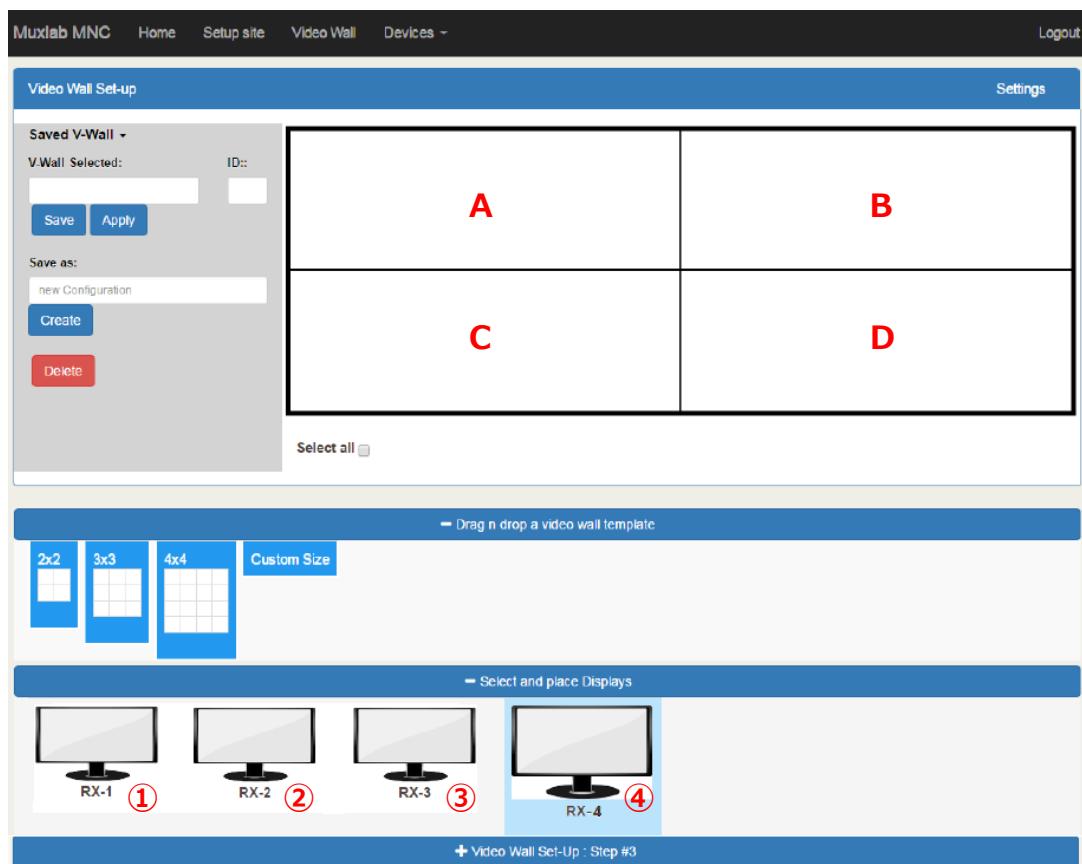


2x2 のビデオウォールのパターンを登録した場合、下のような表示になります。

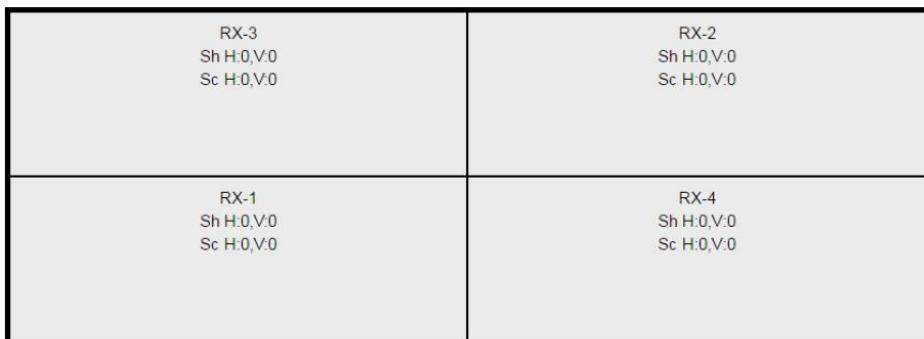


#### 4-5-2 ステップ 2 : ディスプレイ (受信器) の割当

1. +Video Wall Set-Up : Step #2 をクリックし、ビデオウォールに割り当てるディスプレイ (受信器) をクリックして選択します。選択されたディスプレイは背景が青色になります。
2. 選択したディスプレイをビデオウォールのどこに配置するのか選択します。ビデオウォールのいずれかのセルをクリックするとディスプレイが配置されます。
3. 残りのディスプレイも同様に、ディスプレイをビデオウォールに配置します。



下の例のように配置するには、上の画面で①⇒C、②⇒B、③⇒A、④⇒D の順にクリックします。



#### 4-5-3 ステップ3：ソース（送信器）の割当

1. ソース（送信器）をディスプレイ（受信器）に割り当てていきます。+Video Wall Set-Up : Step #3  
をクリックして、ソース（送信器）を表示します。
2. ソースをビデオウォールのどこに割り当てるのか（どのディスプレイに割り当てるのか）を決めます。  
ディスプレイが割り当てられたビデオウォールのいずれかのセルをクリックします。全画面に跨いで表示をする場合は、セルの下にある「Select all」にチェックを入れます。
3. 割り当てるソースをクリックして選択します。
4. 残りのソースも同様に割り当てます。

The screenshot shows the 'Video Wall Set-up' interface. The top part displays a 2x2 grid of displays (RX-1, RX-2, RX-3, RX-4) with their respective Sh H:0,V:0 and Sc H:0,V:0 coordinates. RX-3 is highlighted with a red circle. The bottom part shows a list of sources: 'DVD' and 'TX-00-0B-78-00-7D-0B'. The source 'DVD' is highlighted with a red circle and labeled 'A'. The source 'TX-00-0B-78-00-7D-0B' is highlighted with a red circle and labeled 'B'.

以下の例のように割り当てるには、①> A、②> A、③> B、④> B の順にクリックします。



#### 4-5-4 ディスプレイサイズ、ベゼルサイズの設定

ディスプレイサイズとベゼルサイズの設定は、Video Wall タブの右上にある **Settings** をクリックし、**Show** をクリックして表示される表示設定のオプションメニューで行います。オプションメニューは **Settings** > **Hide** の順にクリックすることで非表示にすることができます。(ビデオウォールは同じ仕様のディスプレイで構成することを前提としています。ディスプレイに個別のサイズ、ベゼルサイズを設定することはできません。)



##### <ディスプレイサイズ> (Unit, screen width/height)

ビデオウォール登録時に入力したディスプレイサイズから自動的に入力されますが、マニュアルで変更することもできます。**Unit** ではディスプレイサイズの単位 (inch、または cm) を選択します。**screen width** はディスプレイの幅を、**screen height** はディスプレイの高さを表します。

##### <ベゼルサイズ> (bezel top/bottom/left/right)

ベゼルのサイズを表します。**bezel top** (上側のベゼル)、**bezel bottom** (下側のベゼル)、**bezel left** (左側のベゼル)、**bezel right** (右側のベゼル) は初期設定で 0.1 インチ (単位を inch に設定している場合) に設定されています。ベゼルサイズの値は変更することができます。

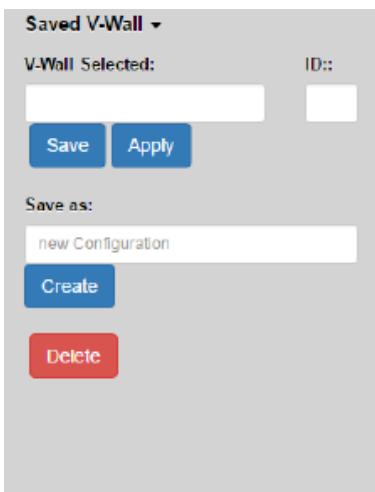
##### <表示の拡大/縮小、表示位置の調整> (Scale, Shift)

1 つ、または複数のディスプレイの表示を拡大、縮小することができます。また表示の位置を上下左右に移動させて調整することができます。ディスプレイを選択し、**Scale** ( $\uparrow/\downarrow$ ) をクリックすると縦方向拡大/縮小、**Scale** ( $\leftrightarrow/\leftrightarrow$ ) をクリックすると横方向に拡大/縮小します。**Shift** ( $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ) で

表示位置を調整します。[Reset] をクリックすると Scale/Shift で設定した内容がリセットされますが、**Unit**、**screen width**、**screen height**、及び **bezel** の設定値はリセットされません。

#### 4-5-5 ビデオウォール設定の保存

ビデオウォールの設定は名前を付けて保存することができます。複数のビデオウォールの設定を保存し、呼び出して切り替えることができます。ビデオウォールタブの左側のメニューで設定の保存、呼び出し、実行、削除の操作を行います。



##### <ビデオウォール設定の保存>

**Save as** に名前を入力し、[Create] をクリックして保存します。  
保存されると **V-Wall Selected** に実行中のビデオウォールとして名前が表示されます。 **ID** には通し番号が入り、保存されます。  
**ID** を書き換え、[Save] をクリックすると上書き保存されます。  
(ID に使用できるのは未使用の番号のみです。)

##### <ビデオウォール設定の呼び出し、実行>

**Saved V-Wall▼** をクリックして保存した設定を呼び出します。  
呼び出した設定は [Apply] ボタンをクリックして実行します。

##### <ビデオウォール設定の削除>

保存した設定を呼び出し、[Delete] をクリックすると確認のダイアログが表示され、[OK] をクリックすると削除を実行し、[Cancel] をクリックすると削除を中止します。

#### 4-5-6 Video Wall タブのメニュー

Video Wall タブ上部のメニューをクリックすると下記の操作が可能です。



<b>Home</b>	[Select] をクリックしてグループを選択すると、送信器、受信器の一覧、またビデオウォールの設定を確認することができます。
<b>Setup site</b>	メニュー タブの <b>Products</b> に戻ります。
<b>Video Wall</b>	ビデオウォールの設定画面を開きます。
<b>Devices</b>	<b>Devices</b> をクリックした後、 <b>Show List</b> をクリックすると、送信器、受信器の一覧を表示します。 <b>Refresh List</b> をクリックすると送信器、受信器を再検索します。
<b>Logout</b>	ネットワークコントローラーからログアウトします。

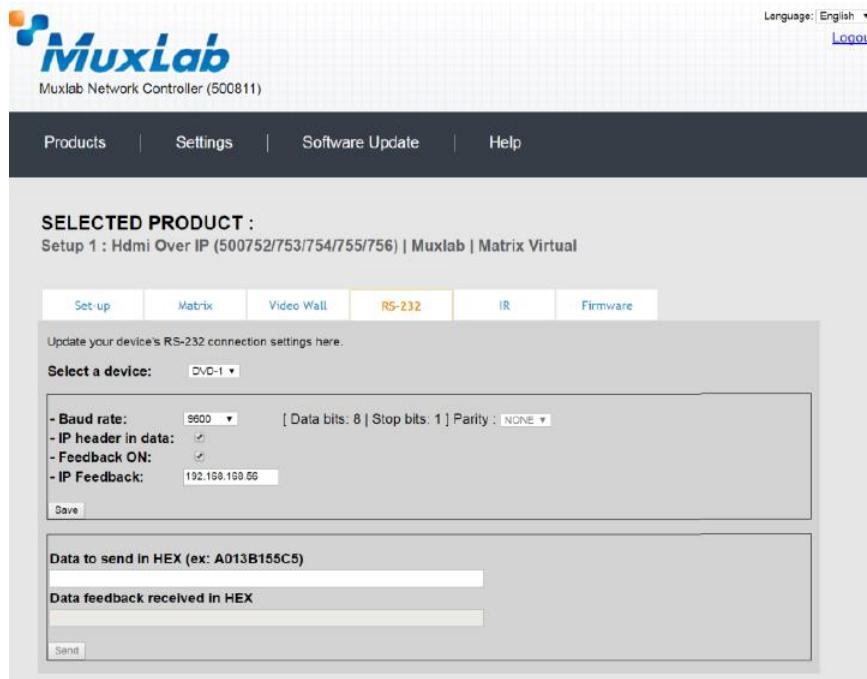
## 4-6 シリアルコマンドの送信

ネットワークコントローラーを介して、任意の送信器、受信器へシリアルコマンドを送信することができます。RS-232 タブより実行します。またシリアルコマンドは、送信器、受信器に接続したコンピューターから送信することもできます。

### 4-6-1 ネットワークコントローラーからの送信

1. ネットワークコントローラを介してシリアルコマンドを送信する場合、はじめにシリアルコマンドを送信する送信器、受信器を選択します。 **Select a device** のドロップボックスで選択します。
2. **Baud rate** のドロップボックスよりボーレートを選択し、**IP Feedback** フィールドにネットワークコントローラーの IP アドレスを入力します。[Save] をクリックすると、ボーレート、IP Feedback の設定を保存します。設定は **Select a device** で選択した送信器、受信器に紐付けされます。（保存後は **Select a device** より再度、送信器、受信器を選択して設定を呼び出します。）
3. シリアルコマンドの送信先を選択すると **Data to send in HEX** フィールドが有効になります。例では **DVD-1**（送信器に接続したソース機器）が選択されています。**Data to send in HEX** フィールドには 16 進数でコマンドを入力します。入力したシリアルコマンドは、ネットワークコントローラからイーサネットスイッチを介して送信器に送られ、送信器から DVD-1 に送られます。

**Data feedback received in HEX** フィールドには、送信器、受信器からネットワークコントローラーにフィードバックされたコマンドが表示されます。



#### 4-6-2 コンピューターからの送信

コンピューターから任意の送信器、受信器にシリアルコマンドを直接送信する場合は、パススルーの設定を行う必要があります。

1. ローカルデバイス（コンピューターに接続した送信器、受信器）に遠隔デバイス（シリアルコマンドの送信先）の IP アドレスを通知します。Select a device でローカルデバイスを選択し、IP Feedback フィールドには遠隔デバイスの IP アドレスを入力し、[Save]をクリックして保存します。
2. 遠隔デバイスのフィードバックが必要な場合は、遠隔デバイスにローカルデバイスの IP アドレスを通知します。Select a device で遠隔デバイスを選択し、IP Feedback フィールドにローカルデバイスの IP アドレスを入力し、[Save]をクリックして保存します。

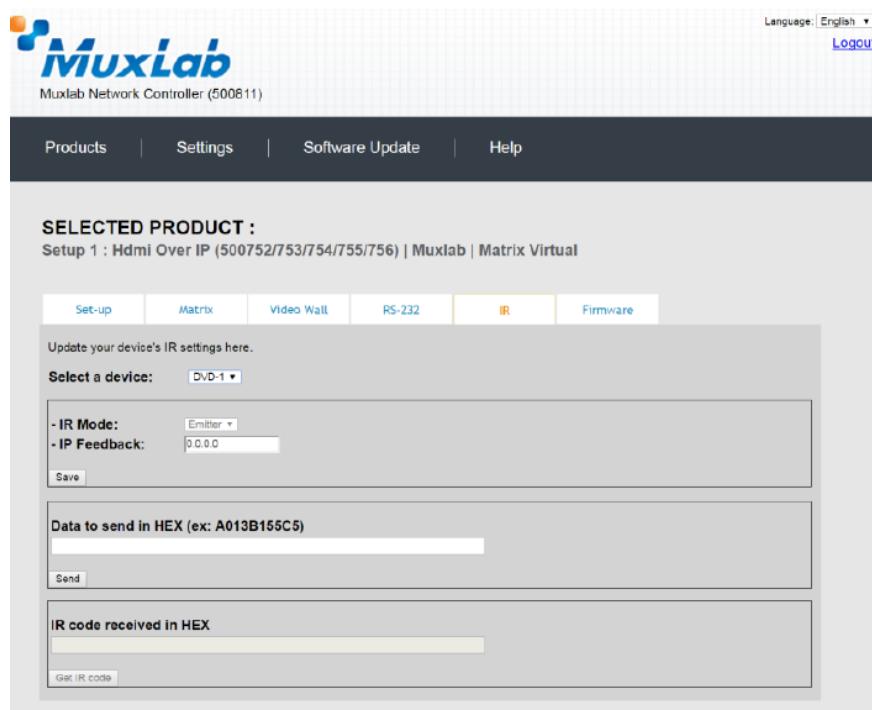
#### 4-7 IR 信号の送信

ネットワークコントローラから送信器、受信器に IR コマンドを送信することができます。IR タブより実行します。また、送信器に接続されたソース機器を、受信器側からソース機器のリモコンで遠隔操作すること（受信器から送信器に直接 IR コマンドを送信）もできます。

##### 4-7-1 ネットワークコントローラからの送信

1. ネットワークコントローラから IR コマンドを送信する場合、はじめに IR コマンドを送信する機器を選択します。Select a device のドロップダウンリストより選択します。
2. IR コマンドの送信先を選択すると、Data to send in HEX フィールドが有効になります。例では、選択されたデバイスとして DVD-1 が選択されています。IR コマンドは、ネットワークコントローラからイーサネットスイッチを介して送信器に伝送され、送信器に接続した IR エミッターより DVD-1 に送信されます。

IR code received in HEX フィールドには、リモコンから IR センサーを介して伝送された IR コマンドが表示されます。



#### 4-7-2 受信器から送信器への送信

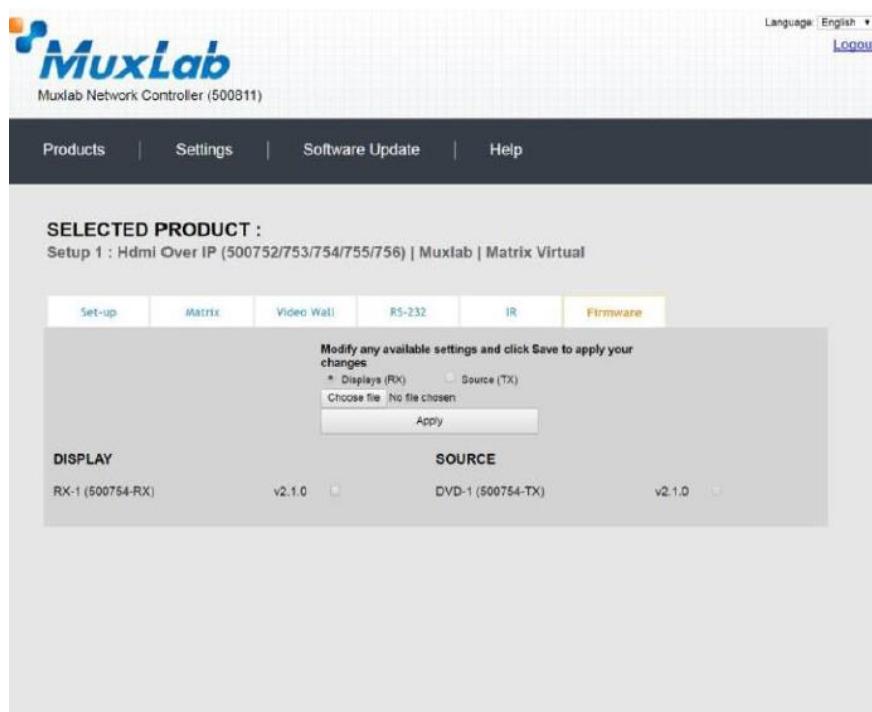
送信器に接続されたソース機器を、ソース機器のリモコンで受信器側から遠隔操作する（受信器から送信器に直接 IR コマンドを送る）場合は、IR 信号のパススルーを設定する必要があります。

受信器に送信器の IP アドレスを通知します。Select a Device のドロップボックスで受信器を選択し、IP Feedback フィールドに送信器の IP アドレスを入力して、[Save]をクリックして設定を保存します。

#### 4-8 ファームウェアのアップデート

送信器、受信器のファームウェアをアップデートをする場合は、Firmware タブより実行します。

1. **Display (RX)** (=受信器)、または **Source (TX)** (=送信器) を選びます。
2. **Choose File** (ファイルを選択) をクリックしてアップデートファイルを選択します。
3. [Apply] ボタンの下に表示された機器の一覧より、アップデートする機器を選び (チェックボックスにチェックを入れ)、[Apply] をクリックして更新を実行します。



## 4-9 メニュータブ

本項ではメニュータブの機能について説明します。



### 4-9-1 Products

ネットワークコントローラーにログインすると始めに表示されます。製品グループの登録を行います。

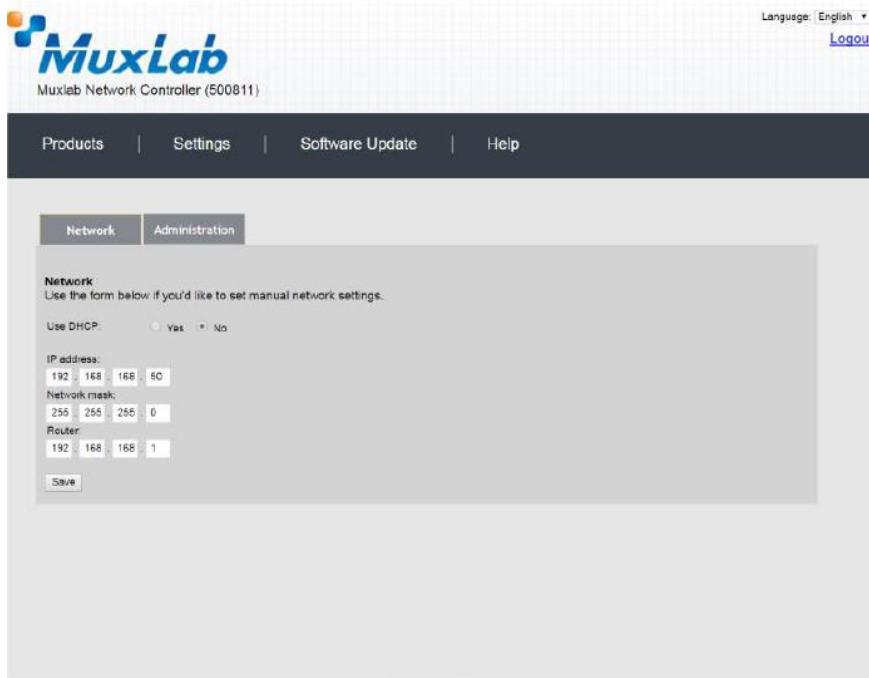
(4-2 製品グループの登録 参照)

### 4-9-2 Settings

Network タブではネットワークコントローラーの IP アドレス等の設定を行います。Administration タブではユーザー アカウントの管理やバックアップ、ログの確認などを行うことができます。

・ Network タブ

Network タブでは、ネットワークコントローラの IP アドレス、ネットワークマスク、ルーターのアドレスを変更可能です。また DHCP を有効または無効に設定できます。設定変更後は **【Save】** をクリックして設定を反映させます。



・ Administration タブ

Administration タブではユーザーアカウントの作成と削除、パスワードの変更、データの復旧、データのバックアップ、およびログの取得が可能です。

(1) User Accounts (ユーザーアカウントの管理)

＜新規アカウントの作成＞

新規でアカウントを作成する場合は、**User Name** にユーザー名、**new password** にパスワード、**Confirm new password** にもう一度パスワードを入力し、**User Type** は **Administrator**、または **Operator** から選び、**【Create】** をクリックして作成します。Administrator は全ての設定の変更が可能です。Operator は、Administrator が保存したビデオウォールの設定を切り替える（呼び出す）操作のみ可能です。

＜アカウントの削除＞

アカウントを削除する場合は **Create a new User Account Or select a User to Edit** より削除するアカウントを選択し、**【Delete】** をクリックすると削除されます。

#### ＜パスワードの変更＞

**Create a new User Account Or select a User to Edit** よりパスワードを変更するアカウントを選択し、**new password** に新しいパスワード、**Confirm new password** にもう一度、新しいパスワードを入力し、**[Update]** をクリックするとパスワード変更が実行されます。

#### (2) Restore data/Backup data (データの復旧/データのバックアップ)

#### ＜データのバックアップ＞

Backup data にある **[Backup]** をクリックすると現在の各種の設定状況をバックアップすることができます。**[Backup]** をクリックするとネットワークコントローラーからバックアップファイルをダウンロードします。ブラウザによって挙動が異なりますが、保存場所を指定して保存、またはダウンロードフォルダーに保存されます。

#### ＜データの復旧＞

データのバックアップで保存したバックアップファイルを使用して、ネットワークコントローラーの各種設定を復旧します。**[Choose File (ファイルを選択)]** よりバックアップファイルを選択し、**[Restore]** をクリックして復旧します。

#### (3) Get Logs (ログの取得)

**[Download Logs]** をクリックするとネットワークコントローラーからログ情報をダウンロードすることができます。**[Delete Logs]** をクリックするとログ情報の削除ができます。



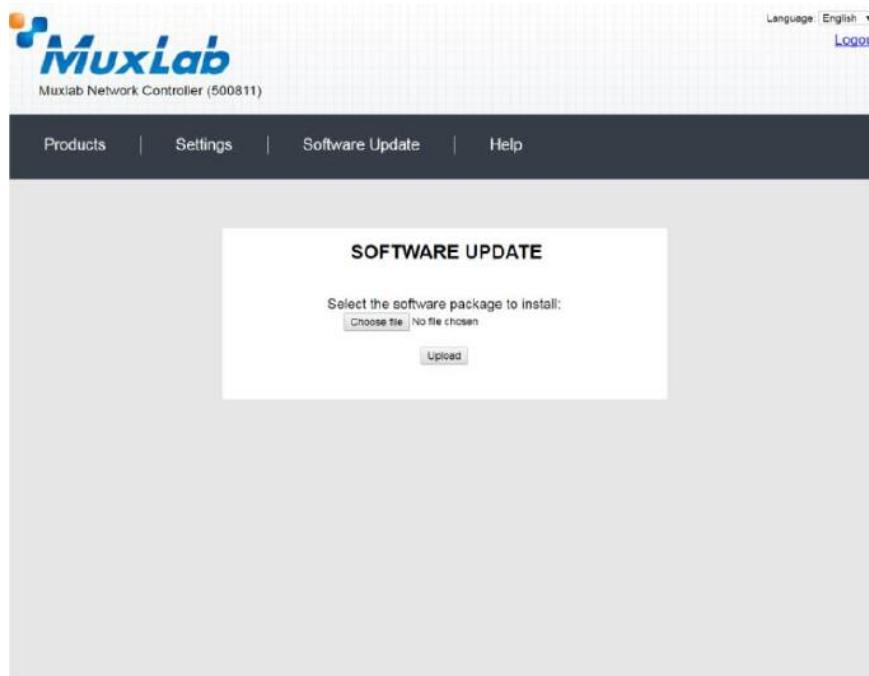
#### 4-9-3 Software Update

ネットワークコントローラのソフトウェア（ファームウェア）をアップデートします。ソフトウェアは、下記の弊社ホームページよりダウンロードすることができます。

MuxLab 製品 ソフトウェアとドライバー

[https://jmgs.jp/support/downloads/driver\\_manual/muxlab\\_driver.html](https://jmgs.jp/support/downloads/driver_manual/muxlab_driver.html)

1. ソフトウェアをダウンロードしてコンピューターに保存します。
2. **[Choose File (ファイルを選択)]** でソフトウェアを選択し、**[Update]** をクリックして実行します。



#### 4-9-4 Help

Help タブには本製品の製造メーカーである MuxLab 社の情報が表示されますが、本製品に関するお問い合わせは、MuxLab 社製品の国内正規代理店ジャパンマテリアル株式会社までご連絡ください。

ジャパンマテリアル株式会社 サポート・修理受付

<https://jmgs.jp/support/repair.html>